

## テーマ ダンスを語ろう、身体を知ろう。

福本まあや先生（文教育学部 芸術・表現行動学科）

自分が学部生の時から最近に至るまで、ダンス／表現／身体／その国や文化の影響、を考える中で、考え方を授けてくれた図書／資料です。

書名 / 著者等. (出版社, 刊行年月, シリーズ名)	請求記号	配架場所
野口体操からだに貞 (き) く / 野口三千三著 (春秋社, 2016. 3)	498.3/N93	図書館一般図書
私は舞踏グループ山海塾の夏合宿を経て、学部3年秋に本学の舞踊資料室で本書(1977年初版の単行本)に出会いました。自分探しの闇に迷い込んだ時に多くの示唆を得ました。元気が出ます。『原初生命体としての身体』より読みやすい。		
原初生命体としての人間 : 野口体操の理論 / 野口三千三著 (岩波書店, 2003. 6. 岩波現代文庫 ; 社会 ; 80)	498.3/N93	図書館一般図書
戦後に東京藝大で体育の教員だった著者が、自らの身体教育思想を綴った最初の著書です。戦後の前衛芸術の礎となった画期的な身体観が分かります。著者の体操教室に通っていた学部4年の私は本書(1972年初版の単行本)の論理的飛躍や暗喩の多さに苦しみ自らの読解力の無さに絶望しました。それでも心に響くフレーズは満載です。		
重力との対話 : 記憶の海辺から山海塾の舞踏へ / 天児牛大著 (岩波書店, 2015. 3)	769/A42	図書館一般図書
野口体操を基礎訓練に取り入れている舞踏グループ山海塾の主宰者の著書です。彼らの考える舞踊、その身体と時空間へのまなざしが見えてきます。		
演出についての覚え書き : 舞台に生命を吹き込むために / フランク・ハウザー, ラッセル・ライシ著 ; シカ・マッケンジー訳 (フィルムアート社, 2011. 6)	771/H45	図書館一般図書
演劇の演出についての覚え書きですが、もちろん舞踊創作／演出法についても通じる内容です。一般の会社や団体等、集団で何かを成し遂げようとする時の心得にもなると思います。		
身体論 東洋的心身論と現代 (講談社, 1990. 6. 講談社学術文庫)	114/Y96	図書館一般図書
身体論の王道的図書の一つ。気とか修行とか、何が東洋的なのかが見えてきます。ただし神経科学的に多少古い部分もあるので巻末のトマス・P・カスリスによる解説まで良く読みましょう。		
芸術立国論 / 平田オリザ著 (集英社, 2001. 10. 集英社新書 ; 0112F)	701/H68	図書館一般図書
「芸術によるコミュニケーション教育推進事業」の発端が分かる書籍。著者は演劇の演出家ですが、ダンスにも通じる内容が多くあります。芸術が何故社会に必要か？ダンスが何になる？という批判を受けた時に反論できるようになります。		
世界のダンス : 民族の踊り、その歴史と文化 / ジェラルド・ジョナス著 ; 田中祥子, 山口順子訳 (大修館書店, 2000. 4)	769/J71	図書館一般図書
西洋の劇場舞踊に偏らずに、舞踊と社会の関わりを世界各国の舞踊を事例として紹介しています。写真が沢山で見ただけで楽しいのですが、大型で重たいのが難点。		
動きの教育 / Lulu E. Sweigard著 ; 村井孝子 [ほか] 訳 (杏林書院, 1981. 10)	780.19/Sw4	図書館オープン書庫 (一般図書)
原題は『Ideokinesis』。『The Thinking Body』の著者の弟子が、イメージが動きに及ぼす影響を実験実証的に示し、イデオキネシスとして体系づけて紹介した書籍。実証したが為に現象学的な学びを重視するソマティック教育からの批判もありますが、一人称のイメージ語を用いた姿勢や動きの指導法など分かりやすい解説があります。		

<p>The thinking body : a study of the balancing forces of dynamic man / by Mabel E. Todd ; foreword by E.G. Brackett (Princeton Book, [pref. 1968])</p>	<p>469/To17</p>	<p>図書館オープン書庫 (一般図書)</p>
<p>1937年初版の古典でありながら、再版・翻訳され、今も世界の舞踊家たちに読まれている本。身体の賢さ、そしてそれに賢くアプローチする方法が述べられています。</p>		
<p>Dance words / compiled by Valerie Preston-Dunlop (Harwood Academic Publishers, c1995)</p>	<p>769/C53/7</p>	<p>図書館一般図書</p>
<p>動作分析法の大家R.ラバンの直弟子でイギリスの舞踊学者の著者が集めた舞踊用語集。舞踊の行為や表象を、言葉で説明することの難しさと、言葉にすることに挑んできた人々の努力の軌跡が存分に分かる本。</p>		
<p>Contact Quarterly : dance &amp; improvisation journal (Contact Collaborations, 1975-)</p>	<p>図書館では所蔵していないため、先生個人のバックナンバーを展示します(貸出不可)。また、CQのHPで雑誌の紹介や全巻の目次を見ることができます。</p>	
<p>コンテンポラリーダンスに多大な影響を与えているコンタクト・インプロヴィゼーションというダンスの即興形式、その普及に大きな役割を果たした定期刊行物です。1975年にニュースレターとして出発し1977年からクオタリィ誌に。修士・博士の論文での主要参考資料でした。ソマティクス、記譜法、武道、演劇、、、舞踊家らが何に関心を持ち、どんな問題に突き当たりそして解決したかが見えてきます。</p>		
<p>Contact Quaterly's contact improvisation source book : collected writings and graphics form Contact Quaterly dance journal 1975-1992 (Contact Editions, 1997)</p>	<p>769/C86/1</p>	<p>図書館一般図書</p>
<p>コンタクト・インプロヴィゼーションの創始25周年記念として編纂されたクオタリィ誌の主要記事を集めた刊行物。CI研究必携書『Sharing the Dance』(1990)の著者S.ノヴァックによるCQ記事リストが元になっています。</p>		